

雲仙治山だより

発行・連絡先 / 長崎県島原振興局農林水産部林務課

〒855-8501 長崎県島原市城内1-1205 電話 0957-63-5073

令和4年(2022)年

10月発行

(vol.11)

赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷における観測・調査を実施

～土石流の発生は確認されていません～

7月から9月までの3ヶ月の雨量は、台風14号の影響による9月17日から19日までの連続雨量261mm、18日の時間雨量37.5mmが最大となりました。

この度、第二四半期の定期観測・調査として、台風14号通過後の9月21日、赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷についてドローンで空撮を実施し、各溪流の変化を確認しました。

その結果、赤松谷本流、極楽谷、炭酸水谷について、前回調査日の6月30日と同様に、10月6日の現地調査までに土石流の発生など大きな土砂の移動の形跡は確認されませんでした。(写真1) (写真2) (写真3)



写真1：赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷の状況 全景

炭酸水谷・極楽谷の状況



写真 2：梅雨明け後【 6月 30日撮影】



写真 3：台風 14号通過後【 9月 21日撮影】

令和 2・3 年度 航空実播工の施工結果を検証

令和 3 年 2 月に、治山ダムの工事に伴い裸地化した一帯の早期緑化を図るため、ヘリコプターで空から草木の種子を散布する航空実播工を 3.9ha 実施し、翌年度、その場所に散布された草本の成長を促進するため、空中から肥料等を散布する航空実播工（追肥）を施工しました。

この度、その生育状況の調査を面的調査方法であるコドラート調査（優先度・群度）を 10 月 6 日に実施し、良好に成長していることを確認しました。（写真 4）



写真 4：調査地（1m×1m）7号治山ダム右岸

植生調査表

優先度・群度	播種名
4・4	ヨモギ
3・3	メドハギ
2・2	ススキ
2・2	トールフェスク
+・2	セイトカアワダチソウ

【優占度の判定基準】

優先度 (記号)	判定基準
γ	孤立して生育
+	わずかな被度を持ち少数
1	個体数は多いが被度は低いか、または割合少数であるが被度は高い
2	非常に多数または被度 10～25%
3	被度 25～50%、個体数は任意
4	被度 50～75%、個体数は任意
5	被度 75～100%、個体数は任意

【群度の判定基準】

群度	判定基準
1	茎葉または幹が孤立し、はなればなれに生じる
2	団状または束状に生育する
3	群をなして生育する（小斑状またはクッション状）
4	群生する。広い斑状または芝生状
5	大群生する

（治山技術基準解説 総則・山地治山編）